

所長 清水文平

津南地区農業普及所

八月一日より普及制度の改正にともない津南町と中里村を管轄とする、津南地区農業改良普及所として整備統合され発足することになりました。このことは申すまでもなく農業の近代化にともない、だんだん企業化されてくるため普及所の専門的授

橘沢	一名
そさい園芸	一名
生活改善	一名

このような体制のもとに当面本年度「下半期」の活動としては統合前の津南町、中里村の普及講師を継承して行き、更に総合的に次の点に重点をおいて活

平年やゝ上回るか

農業委員など作柄調査

が多いなど、いろいろな理由で整備統合が実施されたのであります。しかし一面地域拡大にもない現場におけるサービス低下が心配されますがこれらの欠点をなくするよう地域の皆様様の期待にそむかぬよう努力いたしたいと思ひますので何分の御理解と御協力をお願いいたします。

普及所内の特技部門を次のように定めて活動をすすめる予定です。

作物、農機具、特技三名
奇麗 二名

さる九月八日、村農業委員会では委員および農政普及員、農政役場技術職員など一行三十数名により、産業視察を兼ね今年の水稲作柄調査を行なった。

一行は、豊里東田沢を振り出しに貝野、倉集と村内の全般的な作況を視察調査すると共に、本年より新しい作目として導入された、「ホップ栽培」をはじめ、養鰯、養豚、和牛多頭飼育など農業経営合理化の先端を行く現地視察も併せておこなわれた。

農業委員改選による新委員、

中里村の作況に

ついて
今年の稲作を反省すれば

す田植後における生育概況は、
 平年、前年いづれに比べても差
 数は少なくしかも全般的に極め
 て軟弱な生育で、イモチ病の発
 生蔓延の危険度が高く、生育不
 良であった。田植は当初の予想
 より早まり、豪雪で苗代播種が
 遅れた平塚、山間の一部の地方
 が土曜遅れ、他は前年と大差な
 かった。これは苗代後期の異常
 気象で予想以上に苗が伸び、徒
 長が懸念された田植においても一
 般に苗が軟弱徒長し、この不良
 苗を植えたものが植傷み、活着
 不良となつて生育のおくれが目
 立つた。この傾向は概ね五月十
 四日頃を境として、これ以降に
 田植の行なわれた地帯（約三十
 %）でかなり明瞭にあらわれて
 いる。これに対し早植地帯の苗
 は普通で活潑も概ね順調であつ
 た。本田調査後の生育は低温、
 日照不足で抑制され特に分け
 つが平年よりかなり少ないとな
 った。しかし、六月後半に於け
 る日照が平年並のために、著
 しくは増加し平年に近くなったが、
 草丈は依然として高く軟弱な生
 育は恢復されなかつた。イモチ
 病の発生は山間、山沿、おそな
 地帯に発生が多くこれらは大衆
 苗代からの持込みであつて甚
 いものはスリコミとなつて植
 を実施した状態であつた。七日
 に入つて本田での発生も多くこ
 のイモチは早くかつ広く分布

ている。特に生育遅れがイモチ病の発生、蔓延の危険度が高いので葉イモチから頸イモチに移行することが心配されたが、積極的な消毒によって虫の侵入にわたって発生調査を行なったが、高道田、倉俣の圃田に防除を必要とするほどの発生頭数があつたが、農家の防除によつて多発を防ぐことができた。稲の一生でもっとも大切な減数分裂期に低温のために粉の出来が小さく、その後の天候恢復により活発な炭素同化作用がおこなわれ、養分の流転が順調にすすみ場所によつては粉が養分を貯藏しきれなくなつて潮れるのが出来るかも知れない。とにかく色々のことがあつたが、中里村村金蔵としては早年並か早年を少し上廻る作物とおもわれる。

(産業建設課)

商工会だより

最近各地商店界において、公休日の毎月三回以上の実施並にサービスマン販売が好成績をあげておりますので、村商主会でも多数皆様の声もあり、次のようなアンケートを各商店に配布意見を拜聴し、役員会で研究者請ふことになりま

商工会だより

十一月一日から
列車時刻一部改正
「準急」田沢駅に停車
十月一日から飯山線列車時刻
が一部改正され、田沢駅発車
時間が次のようになります。
◎下り 川口方面行き
七・四三
九・五八
二二・四九
た。
◇アンケートの内容
①中里村商店会公休日
イ、現状のまゝでよい
（毎月五日、一〇日）
ロ、公休日は毎月三回がよい
ア、二の日
（二日、二日、二日）
イ、三の日
（三日、三日、三日）
ウ、四の日
（四日、四日、四日）
エ、五の日
（五日、十五日、二五日）
オ、六の日
（六日、一六日、二六日）
②サービスチケット（グリーン
スタンブ）販売について
概要は商店のサービス販売とし
て加盟店会をつくり、チケット
を提携することによって、消費
者の把握を目的とする。
一、チケット（商品券）は、中
里村商工会加盟店会で発行する

一六・二〇
一八・二四（十日町行き）
一八・五六（聖急野沢分）
◎上り 長野方面行き
五・三三
八・四三（聖急野沢分）
九・一九
一一・四五
一四・四七（夢野行き）
一七・四九（森宮野原行き）

2、商品自購入毎に二円のチケットを提供。
3、購入者にチケット貼付用の台紙を与える。
一定の枚数になるまで、
匹敵する商品を提供する。
4、加盟店はその引換券（台紙）を加盟店会（商工会事務所内）に持参すればそれに値する金額を交付する。
イ、サビスチチケット加盟店会をつくることを賛成する。
ロ、つくることを必要としない。
希望箇所には〇印を記入して下さい。
三、その他意見

以上のようなアンケートを九月九日より十二日迄の期間に収集し、結果を広く会員並びに消費者の皆さんに周知いたしたくをえて取ります。

（商工会経営指導員）

田沢中寄宿舎増築工事

広田建設が落札

別棟に本部の南側に、増築されるもので、四間×十二間、本造二階建、延九十六坪八室となっており、渡り廊下がつけられて、十一月二十五日が竣工期限となっているが、落着期までにはなんとかしても完成されなければ困るので、さっそく着上のはこびとなる模様。

これが出来上れば、既存施設と合わせて約二百名の生徒が寄つた。

日赤の救急車

配置さる

長)の許可を得て出勤すること
になっています。



老人福祉法

八月一日施行

老人の福祉を国の意志として、今度世界でもはじめてといわれる老人福祉法が八月一日付施となりました。

老人のための献立

と人の食物の取り方で注意しなければならぬ点は、次のことです。

食欲を増し、疲労の回復に立ちますが、大量はつゝしましう。

③ コーヒー、紅茶、緑茶は睡眠の妨害になりますから感心して頂きましょう。

◎一家の人間構成から考えて別々に老人食としては作られないと思いますが、家族と同じ量を

用の高い人は、特に動物性脂肪で上手に利用しましょう。
 脂肪はよくありません。
 一、ナスのみで知え

（材料）人分
 野菜、昆布はビタミン、ミネ

ナル源として沢山とりまじし
う。海草類もよく、ワカス、

日本酒、さとう酒も少量なら
 塩少々

①ナスはゆで、たてに細く切
②枝豆もゆでて皮をむいたの
すりはちの中でよくすり、調
料を合せておく。

③ナスがさめたら、②で和え
小鉢にこんもりと盛る。

二、焼き葱とワカメ酢のもの
焼酎3（小3ヶ位）
ワカメ3
酢10
さとう5
しょうゆ2
シウワズ2

①ワカメはさつと湯を通して
わらかくし、一口に食べられ
ように切る。

②焼き葱は湯につけてやわら
くし、水けを切る。

分厘の調味料で酢を作り、①
で①、②を加える。

④しょうがは針のように細
って、盛つけた上にパラダ
とちらす。

三、豆腐サラダ
豆腐60（十五分の二丁）
ソーセージ25（サケ燻
十分の一罐）
にんじん20
胡瓜20
玉ねぎ20
マヨネーズ14
酢少々、バセリ（青もの
マカロニ15

①豆腐は熱湯でさつとゆで
つてすり、マヨネーズと酢

②人参は塩中でせん切り、ソセージはせん切り、玉ねぎはす切りにして、胡瓜は小口切にうすく切る。ふり塩をして気をきく。

③マカロニは熱湯で十五分、八分めで、水気をきっておく

④すり豆腐で材料を加え、みん切りのパセリをちらす。

四、生揚げのそぼろあん

生揚げ百磅（一枚半）
鳥ひき肉十五磅
干しいたけ一磅（半分）
玉葱二磅
人参十磅（二枚）
さとう菜豆一磅
植物油五磅（小さじ二）
しょうゆ五磅（小さじ二）
片くらひ粉少々
しょうが少々

①生揚げは湯に通して適当に、器に盛る。

②しいたけ、玉葱、人参はみ切りにして油で炒め、肉えて炒め、さとう、しょうがを調味する。

③生揚げの盛りつけた上かんにをかけ、上にしょうがのり汁をおとす。

これらは常備食にも保存もなります。大抵は丸のままよいのですが、老人は歯いし、消化力も減退しているので、なるべく細かく切つたよいでしょう。